日本共産党の竹田えつ子です
こんにちはニュース 議会報告
No.209 2023年1月3週

くらしのご相談事いつでもお声かけください。

コロナに感染して感じたこと

私は、新年早々コロナに感染し、7日間の療養生活をしました。幸い軽くて済みました。皆様のあたたかいお見舞いありがとうございました。ご心配・ご迷惑をおかけしました。

＊保健所の増設、職員の増員を

その中で感じたことは、多忙な中でも、保健所職員の的確で親切な対応のありがたさです。

健康観察はスマホでの対応。MyHER-SYSに入力しましたが、アカウントが見つからないと表示されたので、03-5877-4805に電話をしたら機械音での対応、最後に「アカウントが違う可能性があります」との音声。困って電話したのに・・

自公政権のもとで保健所が減らされ、職員を増やしてこなかったことなどにより、人の命が代償となっていることに怒りを感じます。

＊いっそう感じた岸田政権の無為無策

搬送困難事例が増え、亡くなる人が過去最高を日々更新しているにも関わらず、政府は地方自治体任せで無為無策です。感染の拡大、変異株「XBB.1.5」の感染が増え始めてるにもかかわらず、岸田首相からは何のメッセージもありません。

＊コロナ対応病床5616床も削減

搬送困難で亡くなる人が増えている要因の一つが、急性期病床を減らしていることがあると思います。コロナ対応の中心的役割を果たしている急性期病院ですが、その病床が2021年度で2770床、20年度は2846床の削減ですから、コロナ禍のもとでも5616床も減らされたことになります。しかも消費税を財源とする国の給付金を使っての削減です。「医療費抑制ありき」の自公政権の姿勢が鮮明です。

＊軍事費増やすより、福祉くらし優先に

こんなにも、コロナで人々の命が失われている時に、岸田政権は、国会閉会後突然「軍事費を5年間で43兆円」にすること、そして「安全保障3法」を閣議決定しました。参議院選挙でも語らず、国会の審議もなく決めてしまう暴挙です。人々の命を奪う軍事費を増やすなどもってのほかだと思います。「大軍拡」が進められたら、いっそう福祉くらしの予算が削られ、命が粗末にされていくのではないでしょうか。

＊鴻巣から「岸田政権にNO!」の審判を

今年は、統一地方選挙の年。鴻巣市議選の年です。「軍事費より、福祉くらし最優先の政治を」そのためにも、日本共産を強く大きくしていただき、鴻巣から「岸田政権NO!」の審判を下していきましょう。

（身近な市・県道の改修要望について裏面に記載）

皆さんのご意見・ご要望をお寄せください。要求実現のためご一緒に力を合わせていきましょう！
〒365-0031 鴻巣市ひばり野1-30-18 ☎048-542-7072 FAX048-542-7101 携帯090-2553-5215
ホームページ 公式ウェブサイト http://www.takeda-etsuko.com

「2023年新年のご挨拶宣伝」で地域を回りました。比較的車の往来が少なく道路の凸凹などがよくわかりました。年末にも多くの要望が寄せられており、北本県土事務所、市の道路課に改修をお願いしてきました。また道路標示予算が計上されたので紹介します。

県道東松山鴻巣線

県道東松山鴻巣線と国道17号線の交差点付近は凸凹です。来年度予算化し早めの改修を考えていると回答しました。

県道内田ケ谷鴻巣線

県道内田ケ谷鴻巣線（生出塚・中央間）の改修は、2022年度行った（ひばり野間）のように路面を厚くした工事を来年度実施予定です。

氷川町地内通学路

氷川町内の通学路は道路標示が消えており、毎朝通学支援をしている方から改善の要望が出されていました。要望した個所は、12月議会で一括補正予算として計上され、年度内に実施予定です。

市道B－３６２号線

竹藪や雑草が、市道B－３６２号線（原馬室）に、はみ出しており地域の方より改善要望が出されました。市は、12月21日に所有者に文書で連絡したそうです。今後の対応を注視していきます。

市道C－３１５号線

市道C－３１５号線（逆川２丁目）は、市道として認定されていますが、砂利道のままです。周辺地権者全員で舗装整備を陳情しました。市は来年度検討予定です。

市道H－２１３号線

市道H－２１３号線（鴻巣）の路肩の崩れは、すぐに対応いていただきましたが、根本的な道路改修が必要です。この市道は、H－２２３号線（元荒川に架かる橋・道路）につながる予定です。